

3年1組

「みんなが楽しめるまち みなとみらい」

3年生になって、初めての総合的な学習の時間が始まりました。総合の学習は何をするのかな？どうやって学ぶのかな？まずは何を探究していくのかを話し合いました。

10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう



～みなとみらいのまちを調査開始！～

「まちの人たちのために何かしたい。」と考えて活動を始めました。まずは、まちの人たちのためにできることは何かを探るために、まちの人たちに「どのようなまちになってほしいか。」「今のまちについてどう思っているか。」をインタビューしました。インタビュー結果からは、「今のみなとみらいが好き。」「自然が感じられるところがいい。」と思っている人たちがたくさんいることが分かりました。そうすると、「自分たちのできることはない・・・？」

インタビューを分析しどのようなことが分かったのかを話し合いました。



～みなとみらいはみんなにとってたのしめるまち？～

インタビューから分かったことは、今のみなとみらいには仕事や観光で来ている人が多いこと。そして、そういった人たちは今のみなとみらいは魅力がたくさんあるということでした。

しかし、話を続けていた時に、「まちで白杖を持って歩いている人がいたけど、目が不自由な人たちはみなとみらいが楽しいと思っているのかな。」と疑問に思いました。

そう言われてみれば、「目が不自由ってことは景色が見えないから、」「耳が不自由な人だっているよ。」考え出すと、自分たちにとっては良いまちだけど、それだけじゃないかもしれない。と考えるようになりました。



～3つの活動で探究しよう!～

自分たちの経験では分からないことがたくさんある。そう考えて3つの方法で探究していくことになりました。

「会って話を聞く。」「体験をする。」「まちを調べる。」目的を同じにして、3つのグループに分かれて、探究が始まりました。

会って話を聞くグループでは、社会福祉協議会を通じて、視覚障がいのある小泉さんに来てもらえることになりました。



～3つの活動を通して分かってきたこと～

体験をするグループでは、貝川さんに来てもらいゴールボールを体験しました。コートを作るところから活動は始まり、みんなで試合をしました。また、調べるグループは目や耳が不自由な人が困ることは無いのかな、という視点でまちを調べなおしました。小泉さんの話やゴールボールの体験を通して、まちを見直してみると、たくさんのだれもが安心できる工夫がたくさんありました。配慮があればみんなが安心できるまちになるということが、3つの活動を通して分かったことです。



～みなとみらいを語る会～

みなとみらいはだれもが安心できる工夫があることが分かり、それをみなとみらいを語る会で伝えました。その後の振り返りでは、「安心」できるだけでなく、みんなと一緒に楽しめて、住みたくなるまちになってほしいと考えて、活動の発展を話し合いました。



～みんなが一緒に楽しめる、住みたくなるまち～

みんなが住みたくなるまちのために、みんなが一緒に楽しめる方法は何かを話し合いました。そこで、デフラグビー日本代表の日野選手たちに来てもらい、話を聞いたり活動をしたりしました。デフラグビーは一般のラグビーとルールは大きく変わりません。そんな競技で活躍している方の話やこれまでの活動を分かった、「できることで楽しむこと」使える感覚で何ができるか話し合いました。そして、みんなの庭の方の協力を得て、香りで楽しむ方法を提案しました。



3年2組

「MMH お助けプロジェクト」

～活動のはじまり～

「誰かのお手伝いをしたり、困っている人を助けたりすることがしたい!」という思いから、「MMH お助けプロジェクト」が始まりました。

まずは、みんなが気持ちよく過ごせるようにするため、学校の中で困っていることはないか考えました。そこで、学校のことをよく知っている、用務員の葉山さんに、困っていることはないか、インタビューをしに行きました。



インタビューを通して、「草むしり」で困っていることが分かりました。まずは、実際に草むしりを体験してみることにしました。抜きやすい草から、根っこが強く抜きにくい草など、様々でした。みんなで力を合わせて、13.8Kgも取ることができました。草むしりを体験して、葉山さんの大変さを実感し、力になりたいという思いが強くなりました。PTAの環境委員の皆さんにも協力していただき、活動を進めました。

しかし、頑張っただけでは、すぐに生えてきてしまい、悩みの解決にはなりません。どうすれば悩みを解決することができるのか、インターネットや本を活用して調べることにしました。



～「みな」と「みらい」を語る会～

調べている中で、花を植えると、草が生えてくるのを抑えることができると分かりました。草に負けず、学校のみんなが明るく元気に過ごせるような花を植えたいと考えました。

みなとみらいを語る会では、これまで活動してきたことや、悩んでいることについて発表しました。いただいたアドバイスをもとに、植える花についてもう一度話し合いました。



校門前の花壇、百葉箱の周りに、色とりどりの花を植えました。学校のみんなども、地域の方々にも、元気を与えられるように、花を植える位置にもこだわりました。

思うように進まず、悩むこともありました。しかし、そこでやめてしまうのではなく、活動の目的を意識して、最後まで諦めずに取り組むことができました。

